

「台湾大学スプリングスクールプログラム参加報告書」

京都大学経済学部2年 長町 悠平

今回のプログラムは三週間という短い期間ではあったが、私に多大な充実感と達成感をもたらしてくれた。プログラムの内容としては、平日は午前中に中国語の授業を行い、午後には文化理解に関する授業や、フィールドトリップが企画されている。毎日の中国語の授業は少人数で行う会話を重視した形式であり、中国語力の向上を図るには最適なものであったと感じる。フィールドトリップでは、台北市内の観光地を訪れ、台湾の雰囲気を楽しむことができた。土曜日は少し遠めのところまで行くワンデートリップが企画されており、台北市内にとどまらず楽しいひと時となった。このプログラムのよい所として、一人一人に台湾大学の学生が Student Advisor としてついてくれ、一緒に食事をして仲を深めたりし、かけがえのない友達となることができたほか、プログラムのすべての行程に誰かしらがついてきてくれ、我々の台湾での生活を円滑に進める支えとなった。またプログラムの最後には中国語を用いたプレゼンテーションを行う必要があり、すべて中国語で作るということに苦労したが、Student Advisor に手伝ってもらって何度も練習することで、有意義な発表にすることができたと思う。このような経験を積むことができ、中国語能力の向上のみならず、海外への意識も非常に高まった。現地の台湾の学生はほとんどが英語を話すことができ、自分も頑張らなければならないなという刺激を受けた。ほかの学生の海外での経験を聞く機会もあり、以前から大学時代に必ずしたいと思っていた留学について、早く行きたいという気持ちになった。そのためこれからの大学生活の中でもっとも語学の勉強をしていきたいと感じた。また、台湾大学の Student Advisor のような役割を恩返しの意味も込めて、京都大学に来る留学生に対して、今度は自分がやってみたいなと考えるようになった。このように海外との関係を深め、さらに海外での経験を増やしていき、将来の進路につながっていけばいいと思う。進路についてはまだ決めかねているが、このプログラムに参加したこともあり、海外とのつながりのある職業に就きたいと考えるようになった。

最后我真的感谢大家，特别是台大的学生，一起参加的日本学生们，教我中文的老师等等。我跟他们过得很棒的时间。在台湾我去了很多好玩的地方。虽然时间很短，但是我得到很宝贵的经验。如果有再去台湾的机会，一定要跟台湾朋友们见面。下次见面的时候，我想要会讲中文流利，所以我决定在日本努力学习中文，要进步中文。希望我跟台湾的关系更好。